

# 阿波市 議会だより

第16号 [平成22年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地  
電話0883-35-4118 FAX0883-35-4150

平成二十二年第二回(六月)

## 阿波市議会定例会の概要

六月定例会は、六月四日から二十五日まで開かれました。開会日には、野崎市長から、学校施設整備事業、新庁舎建設など市政の重要課題について、また第五回土砂災害・全国統一防災訓練の一環として、六月六日に市場町日開谷で実施された防災訓練の概要、また県及び四国市長会議においての河川環境の整備等の要望事項など、行政報告がありました。このあと、平成二十二年一般会計補正予算などの議案について、概要と提案理由の説明がされました。代表・一般質問では、十五人が市政全般について考えを問ひ、新庁舎建設、道路等の整備、農業振興などが論議されました。閉会日には、各常任委員長による委員会審査報告の後、市長提出議案十五件が承認・可決・同意されるとともに、議員提案された「美馬市梓原最終処分場移設計画の再検討を求める意見書」が可決されました。また「新庁舎建設場所についての請願書」は不採択となりました。

(議決結果の一覧は裏面に掲載しています。)

吉田 正 議員  
(阿波みらい)



**問** 庁舎建設に伴う事業認定と旧庁舎跡地利用計画について。  
**答** 庁舎建設用地等の取得における課税上の特別措置には県知事の事業認定が必要。円滑な事業の進捗を図るため早期の事業認可を目指したい。基本設計、実施設計の作業において十分検討し議会に説明させていただく。旧庁舎跡地利用は、建設計画と並行して、早速庁内検討委員会等で議論して取り組みたい。

**問** 農業振興策とブランド品推進事業の検討と方針について。  
**答** ブランド飛躍推進事業で、市内農業四団体の代表者などで組織する農業振興戦略会議を立ち上げ、農業事情の把握に努め、産地間競争に対応できるブランド商品の育成を推進していく。

**問** 土柱林養村と金清自然環境活用センターの運営方針は。  
**答** 指定管理者制度で、市が財団法人に両施設の運営を委託しており、期間が本年度で更新時期となる。運営は厳しい状況で、今回検討委員会での施設の分析等をし、理事会及び議会で協議し今後の方針を考え、市民に応えられるような形にしたい。

興担当の職員とともに、担い手農家等に出向き、農業の実態把握に努めており、JA職員などで視察・研修に行っているところである。今年度中には、阿波市の農業の振興計画を立てたい。

**問** 昨年七月九日に、西ノ岡地区から、市道山尻・西ノ岡線の拡幅工事と、立石橋の架けかえの要望書が提出されているが、その後の進捗状況と見通しについて。  
**答** 本年度に着手し、平成二十八年年度に供用開始の予定である。平成二十三年年度の計画としては、工事区内の補償物件の調査を実施し、用地交渉が完了したら工事に着手する予定。

池光 正男 議員  
(日本共産党)



**問** 国保税について、不況経済の下で、支払いきれない世帯、低所得者に対する対応は。  
**答** 失業等に遭われた方には、国保条例施行規則に基づく減免、地方税法の一部改正に伴う国保税所得割の減額算定などにより、負担軽減を図っている。

**問** 無保険の人を把握できていないのが現状で、無保険等の理由で受診が遅れて死亡するという事例もある。国民健康保険制度をどう考えておられるか。  
**答** 各市町村で独立して運営する制度なので、応分の負担をお願いせざるを得ないが、市民負担の軽減、制度の改革を、機会ある度、国等に要望したい。

**問** 口蹄疫について、万一の場合に備えての対策と、畜産農家に対しての支援は。また、口蹄疫ほど恐ろしい伝染病はなく、国を挙げての防疫体制づくりを求めたい。  
**答** 県下で発症が確認された場合は、県のマニュアルに基づき早急に防疫体制をとることになる。今回の特別措置法に伴う費用は国が負担する方針で、市も補償内容は十分協議したい。



## 代表質問

吉川 精一 議員  
(阿波みらい)



**問** 阿波市庁舎建設を市場町幡古田に決定した理由は。  
**答** 古田地区は、市の東端から十・八km、西端から十二・八kmとほぼ市の中心部に位置し、市民の利便性や高齢者等の弱者にとって交通事情の良い所である。北に阿讃山脈、西に高越山、南に吉野川、東には眉山が見えるなど、緑に覆われた広大な古田地区に、市民のための庁舎機能の充実が勿論のこと、市民が集い、語り、憩える素晴らしい庁舎を、議会の皆様と相談しながら建設していきたい。

江澤 信明 議員  
(阿波清風会)



**問** 新市庁舎へのコンセプト、ビジョンはどの様なものか。  
**答** 市民の利便性を第一に考え、庁舎を中心に市民が集い、語らえる場所にしたい。身の丈に合った低層階で、低コストの建設を考えている。

**問** 庁舎建設に合併特例債を活用した場合の、将来の財政状況はどうなるのか。  
**答** 現在は経常収支比率では、阿南市に次いで二番目に良好で、基金の積増も図っており、しっかりとした財政計画も立てており、現状の比率を増加させることなく維持できると思う。

**問** 子ども手当の支給が始まった。阿波市の対象人数総額は。

原田 定信 議員  
(志政クラブ)



**問** 庁舎建設について、今後のスケジュールは。また市長の現在の任期中に、起工式に至るまで進められないのか。  
**答** 今後、地元説明会をし、事業認定に向けた作業を進めたい。幸い候補地の地権者が非常に協力的なので、前倒しも可能ではないかという思いはある。

**問** 土成町の合併に携わった方を中心に、合併協議会での決定を遵守すべきとの運動があるが、市民への説明責任は。

## 一般質問

香西 和好 議員  
(公明党)



**問** 児童生徒の通学路の管理について、安全で安心して通学するために、総点検をしては。

**答** すべての学校で、教員、保護者、PTA役員で毎月一回点

**問** 一月から三月に開催された自治会総会で市の幹部職員が出向いて説明、市民懇話会について広報阿波に順次掲載、ACNにより、候補地の映像とあわせインタビュー形式で市民にご理解を願うなどした。今後も誠意情報提供していきたい。  
**問** 白鳥荘、土柱林養村の今後の運営について、検討委員会を設置する前に、財団の理事会、市、議会が、利用者のニーズに添えるべく取り組みが必要。  
**答** 議会、財団、第三者機関等が本気になって、この際、経営改善に取り組むべきではないかと考えている。

**問** 乳幼児医療費助成制度は、全国の自治体で中学三年修了まで引き上げて少子化対策に取り組んでいるが、本市も中学三年生修了まで引き上げる考えは。  
**答** 引き上げについては、十分な財源確保を踏まえた上で検討させていただきたい。

**問** 土柱の保存計画と地元関係者からの要望について。  
**答** 土柱のすばらしい景観を損なうことのないよう、十分計画を練りながら早急に保存計画をつくっていききたい。案内板については改善していきたい。トイレの設置については、再度調査し今後十分協議したい。

藤川 豊治 議員  
(阿波みらい)



**問** 市長は、「農業立市」を掲げ当選され、一年二か月になるが、成果は。  
**答** 今年の四月一日から、農業の専門職一名を採用し、農業振

興担当の職員とともに、担い手農家等に出向き、農業の実態把握に努めており、JA職員などで視察・研修に行っているところである。今年度中には、阿波市の農業の振興計画を立てたい。

正木 文男 議員  
(阿波清風会)



**問** 合併後六年目を迎えた今、合併の効果や検証は。  
**答** 時代の要請に従い郡を越えた合併に取り組み、公共料金の整理統合や、生活基盤充実のためのケーブルテレビ網の整備、集中改革プランに基づき行財政改革にも取り組んできた。今後は、地域主権が一層進むであろう状況の中、自己責任と自己決定の意志を強く持ち、阿波市まちづくりに取り組み。

**問** 市場町で検討されているインターチェンジ建設計画の推進状況は。  
**答** 平成十九年に、設置可能と思われる地点での現地調査を行い、徳島県高規格道路推進局に対しインターチェンジ設置要望を行った。その後進展はない状況であるが、検討のための資料整備を行い、今後、地域活性化

の専門職一名を採用し、農業振



**松永 渉** 議員  
(阿波清風会)



**問** 子育て支援拡充と改革は。次世代支援後期行動計画の策定、子育て支援センターの開設、久勝学童保育室の新設整備やファミリーサポートセンターの設置に向けて取り組む。

**答** 農工商連携による産業振興と、働く場の確保について。

**問** 農業振興課のブランド飛躍推進事業で、農業の実態調査をし、担い手の環境整備や、生産と加工、販売の連携による農業の六次産業化も考え、阿波市農業振興計画を策定したい。

**問** 高齢者社会での上水道以外の飲料水の確保やゴミ収集は。介護保険等の制度が適用できない方の支援に、シルバークンセンターの充実やボランティア団体の育成等、検討が必要。

**問** 「合併して何ひとつ良いところがない」という声がある中、行政の広域化に対応した新たな地域づくりが必要である。市職員が地域に出向き、情報や課題を共有し、活力と個性ある地域づくりを支援するため、地域担当職員制度を導入すべきでは。

**答** この制度が本市に必要なかどうか研究する。

**榎原 賢一** 議員  
(阿波みらい)



**問** 善入寺島の農地保全整備、水害及び周囲の問題について。

**答** 善入寺島への三つの潜水橋、あるいは阿北環境整備組合の水源地の近くの河川が相当崩壊の危機にさらされるとい

とであるが、市も現場を全部確認させていたのだが、要望の箇所は管理が国土交通省であるので、地元二人の県議会議員とも相談し、要望を強くしたいと思う。

**問** 低地の排水問題について、香美地区の市場谷川下流より改良を求める二十九名の陳情と、大野島地区の鷺谷の樋門に揚水機の設置を求める一千七百二十九名の陳情、また、伊月地区の揚水機が老朽化して水害に機能していない。大型の揚水機に早く取りかえてほしい。

**答** ご質問の三件の問題については、今年の五月に開催された徳島県市長会、あるいは吉野川市で開催された四国市長会等々でも、国への本当に重要な要望としていっているので、これから先なお積極的に、関係者ともども要望してまいりたいと思っております。

**榎原 伸** 議員  
(阿波清風会)



**問** 合併協定書の協定項目を議会の承認なしに変更することは許されるのか。

**答** 法律上の規定はなく、合併市町村は、履行を義務付けられるものでないと考えている。

**問** 公式協議の場で一度として協議されていなかった切幡古田地区を候補地とした理由は。

**答** 総合計画にある、総合施設の建設における市全体のバランス、財政などを、私の基本理念(公平・公正・クリーン)に則り、熟慮の上古田地区とした。

**問** 裏切られた思いの強い土成町民に対する説明、全市民へのアンケートを実施する考えは。

**答** 庁舎問題は庁舎特別委員会等で議論を重ねており、場所についてはCATVでも詳しく説

**三浦 三二** 議員  
(阿波みらい)



**問** 新庁舎建設にあわせ、合併特例債等を活用し、周辺の幹線道路の整備はできないか。

**答** 阿波市市道整備計画を早急に策定し、国庫補助金と合併特例債の併用等により、年次的、計画的に整備していきたい。

**問** 県道香美吉野線、阿波中央橋北詰から伊月橋までの堤防道路の拡幅、整備について。

**答** 現在、国土交通省が漏水対策工事を行っている。地域の要望を受け、市として河川管理道路の拡幅を要望したが、設計変更は難しいとの回答だった。非常に重要な道路なので、今後も関係機関へ要望していきたい。

**問** 西条大橋の取り合い道路について、進捗状況、対応は。

**答** 本年度は、県道鳴門池田線から環境センターまでが供用の予定。徳島吉野線から鳴門池田線までは、来年度に事業採択されるよう県に要望したい。

**問** 熊谷川、大谷川の改修、整備について。

**答** 円滑な排水、防災の観点から重要と考えており、県に要望するとともに、市もできる限りの協力体制をとりた。

**出口 治男** 議員  
(阿波清風会)



**問** 新庁舎建設場所問題について、土成町は四町合併を一度は否決し、その後、地方自治法及び市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき設置した合併協議会で協議され、新市の事務所の位置は土成町の県道鳴門池田線沿いで確保し建設事業に着手すると協定されている。

**答** 法律等々の規定ではないという解釈で、何を拘束できるものではない。

**問** 昨年の市長選挙において、四町が結んだ合併協定や土成町の思いを尊重したいとの公約が徳島新聞にも報道されている。

**答** 選挙公約で庁舎問題には触れていない。

**問** 美馬市の吉野川河川敷内にある最終処分場は、砂バラスを採取した二町歩ほどの大きな穴に一般廃棄物、焼却灰と一緒に埋め立てされており、三十五年間タイオキシが入った可能性のある伏流水を飲み続けている。タイオキシの調査、環境アセスメント、また移転計画地は阿波市などに影響のない場所か。

**答** 市民生活の安全のため、公害のない施設になるよう、美馬市に要望を続けた。

**森本 節弘** 議員  
(志政クラブ)



**問** 小中学校の耐震工事の進捗率と今後の工事計画は。

**答** 耐震化率は、平成二十三年四月一日現在で六三・九%となり、平成二十六年度末に

一〇〇%を目標としている。

**問** 橋梁の耐震計画、長寿命化計画の進捗状況は。

**答** 橋梁六百八十二の点検を実施しており、平成二十三年度に補助事業の要望申請を行い、二十四年度から必要性の高い橋梁を優先的に整備していきたい。

**問** 市内の堤内、滞水地の排水整備をどのように進めるのか。

**答** 多額の費用と予算がかかるが、国・県に要望を重ねて、連携を密にして、排水計画を立てられるよう進めていきたい。

**問** 市内全域の排水路系統図を作成する考えはないか。

**答** 市全体の排水路問題を計画的に解決していく必要がある、できるものから取り組みたい。

**問** 市内集会所の一元管理はできないか。

**答** 所管部局で管理するのが望ましいと考えており、地元で十分相談をいただき、管理方法を決めていただきたいと思う。

**木村 松雄** 議員  
(志政クラブ)



**問** 庁舎建設について協定書を履行できなかったことについて土成町に説明する考えはなかったのか否か。

**答** 覚書、合併協定書の重みはひしひしと感じているが、阿波市民四万二千二人の意見があり、特定の考えの人だけに説明するのでなく、議会、情報機関を通じて、市民に同じ土俵で冷静に判断してもらおうのが最も公平公正だと考え、土成町から説明に来てくれと言われてもお断りした。阿波市全体を考え、地域のバランス、財政状況、市民に急激な変化を与えないような庁舎建設をしなければならぬ。

**問** 建設候補地は近くに中央構造線が走っていると思うが、選

阿波市議会 平成22年第2回(6月)定例会 議決結果一覧表

| 議案番号   | 議案名  | 議決結果 |
|--------|--|------|
| 報告第1号  | 平成21年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について                      | 承認   |
| 報告第2号  | 平成21年度阿波市介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書について                  | 承認   |
| 議案第36号 | 平成22年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について                       | 原案可決 |
| 議案第37号 | 平成22年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について                 | 原案可決 |
| 議案第38号 | 平成22年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について                   | 原案可決 |
| 議案第39号 | 阿波市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について                    | 原案可決 |
| 議案第40号 | 阿波市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について                       | 原案可決 |
| 議案第41号 | 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について               | 原案可決 |
| 議案第42号 | 阿波市養護老人ホーム設置及び管理に関する条例の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第43号 | 阿波市国民健康保険条例の一部改正について                             | 原案可決 |
| 議案第44号 | 阿北特別養護老人ホーム組合の監査委員選任の変更及び阿北特別養護老人ホーム組合規約の変更について  | 原案可決 |
| 議案第45号 | 阿北火葬場管理組合の監査委員選任の変更及び阿北火葬場管理組合規約の変更について          | 原案可決 |
| 議案第46号 | 阿北環境整備組合の監査委員選任の変更及び阿北環境整備組合規約の変更について            | 原案可決 |
| 議案第47号 | 市場中学校校舎地震補強工事のうち東校舎その他工事請負契約の締結について              | 原案可決 |
| 議案第48号 | 教育委員会委員の任命について                                   | 同意   |
| 請願第1号  | 新庁舎建設場所についての請願書                                  | 不採択  |
| 発議第7号  | 美馬市拝原最終処分場移設計画の再検討を求める意見書について                    | 原案可決 |

**活動状況報告**

- 1. 国会議員が阿波市を訪問、市内を現地視察**  
7月20日、高井美穂衆議院議員と中谷智司参議院議員が阿波市を訪問され、市議会議員、市長、建設部職員の随行のもと現地を視察されました。  
【視察箇所】  
①五明谷(東川原地区)排水対策について  
②阿北環境整備組合の取水口の保護について  
③善入寺島への潜水橋周辺吉野川堤内の管理について  
④鷺谷川樋門の排水機場設置要望について  
⑤堤防管理道路(県道香美吉野線)拡幅について
- 2. 徳島県市議会議員研修会に出席**  
7月27日、徳島市のサンシャイン徳島アネックスにおいて、県市議会議長会主催の議員研修会が開催され、阿波市議会からは16名の議員が出席しました。  
県市議会議長会会長、徳島市長のあいさつに続き、元全国都道府県議会議長会調査一部長、議事調査部長の野村稔氏による「政務調査費について」と題した講演があり、県内8市から出席した議員が熱心に耳を傾け、質疑にも答えていただき、有意義な研修会となりました。
- 3. 委員会等の開催状況**  
6月17日 産業建設常任委員会、総務常任委員会 6月18日 文教厚生常任委員会  
6月21日 公営施設(事業)民営化特別委員会  
7月29日 地域活性化インターチェンジ調査特別委員会 8月6日 文教厚生常任委員会

**議会だより 編集雑感**

今年の夏は一段と暑かったように思いますが、市民の皆様は元気でお過ごしでしょうか。

今年度第一回目、通算では第十六号となる議会だよりの発行となりました。先の、第二回目となる阿波市議会議員選挙により議会広報特別委員会の委員も新メンバーとなりスタートしております。市民の皆様には議会の情報、そして各議員の主張等をしつかりと伝えてまいりたいと考えております。

私も議員は、住みよい阿波市まちづくりのために、市民の声をより正確に反映させ、また提案をしていくのが大事と考えております。初心を忘れることなく、市民の皆様のお役に立つ議会広報づくりに、委員一丸となり取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご支援をどうかよろしくお願い致します。(正木)